

今月の御教え

何事もくぎづけではない。

信心をめいめいにしておらねば長う続かぬ。

……金光教祖御理解 第六十七節……

解説

今、生活が安定していたり、無事に過ごすごことが出来ていても、それが何時までも続くとは限りません。この先どうなっていくか、何が起こるかは、分からないものです。世に「親は苦勞、子は樂、孫は乞食」との諺があるように、相当の財が有る素封家のおうちでも、孫さん達の代で、没落したお家が多々ありますが「信心」の世界に於きましても、親先祖の信心により、今お蔭を受けていても、そのあとを継いだ者が夫々に、すっかり信心の稽古に励まないと、難儀に出会った時に、それを乗り切ることが難しいと思われれます。故に個々が夫々に日々信心の稽古に励むことの大切さを教えられた御理解であります。

尚、今月の二十三日は本部広前の御比礼を頂いて当西条教会に於きまして「天地金乃神大祭」が仕えられますので、万障お繰り合わせの上、共々に参拝のお蔭を頂きましょう。